

ジャンボ！ マサイの戦士が やってくるin香川

マサイ族の暮らしを知ろう
ぼくらへつもる幕ける時間

サバソナを
体験しよう！



2015. **9月26日** (土)

開場 12:30 始まり 13:00 ~ 15:00
場所 さぬきこどもの国 2F研修室 高松市香南町由佐3209

- 講師
- ジャクソン マサイの戦士
 - 永松 真紀 ジャクソンの第二夫人
 - 早川 千晶 ケニアのスラムで学校運営

対象 小学生とその保護者50組

入場 無料 (事前申し込み必要)



● お申込み・お問い合わせは 香川県ユニセフ協会まで、TEL・FAX・メールにてお申込みください。
Tel/Fax 087-813-0772 E-mail toiawase@unicef-kagawa.gr.jp



ジャクソン・オレナレイヨ・セイヨ

ケニア共和国リフトバレー州トランスマラ県エナイボルクム村在住。シリア・マサイのカフティエイ支族に属する。戦士時代に7頭のライオンと1頭の象を仕留めたという勇敢なマサイ男性。現在も、牧畜を基盤とするマサイ伝統生活を送っている。

2003年、マサイ戦士時代卒業にあたる伝統儀式「エウノト」を終え、現在、長老の準備期間を過ごしながら、変化の激しい現代ケニア時代の流れに翻弄されることなく、より良い未来を築いていくためのコミュニティ若手リーダーとして尽力している。



永松真紀（ながまつまき）

1967年福岡県北九州市生まれ。ケニア唯一のアロ添乗員。東アフリカ・ケニア共和国在住。1988年8月、添乗員派遣会社に所属し添乗員となる。8月、旅程管理主任者取得。「手取り足取り、痒いところに手が届くサービス」「一味違う旅の演出」をモットーにヨーロッパ、南米、アフリカ、アジア、オセアニアなど全世界を網羅。世界中をくまなく回った末、ここにこせ住みたいと思った国がケニアだった。

1996年より、本格的にケニアに移住。アフリカ各国でガイド、撮影コーディネーターを手掛けながらも、年間3分の1は日本のリピーターからの指名を受け、日本発のツアーに同行している。ケニア庶民の足「マトト（乗合ミニバス）」のオーナーになったり、ケニア人男性との結婚・離婚の経験から、ケニア社会の裏の裏まで知り尽くしている。

2005年4月、伝統的生活を送るマサイの第二夫人となり、夫と共にコミュニティサポート、マサイを良く知るためのマサイエコツアーや日本での講演会などに力を入れている。

著書に「私の夫はマサイ戦士」（新潮社）がある。

<http://www.masailand.com/>



早川千晶（はやかわちあき）

ケニア・ナイロビ在住18年のライター。1966年福岡生まれ。世界放浪の旅の後、ケニアに定住。旅の企画や撮影コーディネーターを手掛けた後、フリーライターになる。現在は執筆活動のかたわら、ナイロビ最大級のスラム・キペラで、孤児・ストリートチルドレン・貧困児童のための寺子屋「マゴソスクール」の運営（生徒数198人）、スラム住民の生活向上プロジェクト、給食活動、図書館作り、リサイクル運動、大自然体験ツアー、マサイ民族のコミュニティと共に行うエコツアーなどを手掛けている。

2005年から、ミリティーニ村にジュンバ・ラ・ワトト（子どもの家）を設立、運営を開始（児童数24人）。著書に、「アフリカ日和」（旅行人）、「輝きがある。～世界の笑顔に出会う瞬間（とき）」（出版文化社）。朝日新聞、西日本新聞、毎日ウィークリー、月刊誌「ソトコト」、季刊誌「旅行人」などで連載。

1999年から日本全国各地でアフリカトーク&ライブのツアーを毎年行っている。大西匡哉と共に、「JIWE」「マイシャ・ヤ・ラハ基金」などをベースに活動中。

ウペボ～アフリカの風ネットワーク：

<http://homepage2.nifty.com/upepo/>

アフリカスタディツアー：

http://tabisen-tsunagu.orio.jp/africa_studytour

マイシャ・ヤ・ラハ基金：<http://www.maisha-raha.com/>

世界にはいろいろな暮らしをしている人がいます。ケニアに住む「マサイ族」の人たちは今も、牧畜民族として伝統を伝える生活を送っています。マサイの戦士のジャクソンさんから「マサイ族」の子ども時代の役割や過ごし方を教えてもらいます。そして、サバンナでの生活を体験してみよう！

●●夢みる時間●●

マサイ族のくらしを体験しよう♪

- 木だけで火はつく？ 火起こし体験
- どごまでみえる？ 視力検査
- 獲物を仕留めるのは？
武器のひとつ！ ルング投げ
- マサイの衣装を着てみよう！
(人数制限あり)